

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>

市長●ほっぺ●コラム

市長●佐竹敬久



家族・地域の絆づくりフォーラムで
(11月16日)

激動の今年を振り返って

今年は何年以上に、国内外とも直接・間接に私たちの生活に影響を及ぼす大きな出来事が続きました。



昨年从今年にかけて、中国、インドなど発展著しい国での急激な需要拡大や、投機マネーの対象になったことにより、原油や穀物、工業材料の国際価格が高騰。経済活動はもとより私たちの家計を直撃しました。五月には、中国・四川大地震が発生し、死者・行方不明者が九万人近い未曾有の大惨事となりました。六月には、東京秋葉原で無差別大量殺人が発生し、大きな社会問題として国民に不安を抱かせました。そして六月十四日に起きた岩手・宮城内陸地震では多くのかたが亡くなるとともに、大きな被害を被りました。犠牲者のみなさまのご冥福と再建をお祈りします。ちょうど、北秋田市で行われた全国植樹祭の前日

で、天皇・皇后両陛下をお迎えする日でしたので、その対応に追われましたが、県北部は被害がなく、翌日には両陛下ご臨席のもと、植樹祭を滞りなく開催することができました。七月には、先進国首脳による地球環境保全と経済安定をテーマとした洞爺湖サミットが開催されました。



そして八月には、空前の規模と奇抜なアイデアの北京オリンピックが開催され、国内では日本人選手の活躍に沸きました。時同じくして発生したロシアとグルジアとの大規模な武力衝突は、根底に地下資源の豊富な西アジアをめぐるアメリカとロシアの覇権争いがあることから、新たな冷戦の幕開けと心配されています。九月には、サブプライムローンというアメリカの高利な住宅ローンの急げ付きに端を発した金融危機が急拡大し、アメリカ最大手の金融機関

が破たんしました。この影響はまた間に全世界に及び、株価は大暴落、企業収益は悪化し倒産が急増するなど、百年に一度といわれる世界規模の経済危機に陥りました。

このような中、十月は一挙に四人の日本人がノーベル賞を受賞するという、日本人の底力を示す久々の明るいニュースで沸きました。そして十一月には、次期アメリカ大統領としてアメリカ初の黒人系のオバマ氏が選ばれました。

さて県内では、今のところ大きな災害もなく、大事件も勃発していませんが、厳しい局面は拡大し将来への不安が日に日に増しています。

国政の場合は、相も変わらず国民にとって何が大切なのかという基本を抜きにしている感が否めません。

新春丑年は、国民全体が、厳しく苦しいながらも苦境を乗り切ること、に納得づくで力を尽くせる年にしたいものです。





11/13

ホットに絆づくりツアー 絆育んだ秋晴れの日

おじいちゃんで作ったきりたんぼ、おいしい！



へそ公園の「きずなばし」で

家族や友人の絆を強く…。太平洋自然学習センターで、きりたんぼ鍋を作った後は、河川の岨谷峡へそ公園で秋を満喫。絆を思いっきり育んだ一日でした。

秋田 きずな 発見！

内閣府が定めた家族の日（11月16日）と家族の週間（11月9日～22日）に合わせて、ハートフル絆映画上映会のほか、フォーラムなどさまざまなイベントを開催しました。



家族で動物園見学 大森山動物園で 絆発見！つけた！

11/9

アムールトラに大接近！

「トラの人工保育がうまくいかず、迷い犬に育ててもらった」という話を聞いたり、獣舎を見学したり…。動物も人も、ふれ合いが大切だと学びました。

講師の佐々木常夫さん（東レ経営研究所代表取締役社長・上）と倉田よしみさん（漫画家）



11/16

アルヴェで「家族・地域の絆づくりフォーラム」 仕事、そして生活を絆が支える

仕事と生活のバランスをテーマに、2人の講師から実体験に基づいた話をいただきました。講話の後にいったパネルディスカッションでは、熱心にメモをとる参加者の姿も見られました。

第3日曜日は みんなで小学校へ

11/16

第3日曜日は、市立小学校の体育館とグラウンドの開放日。11月16日、勝平小学校の体育館では、子どもたちの元気な声が響いていました。



人気はバスケット！

暖房費節約

断熱グッズで

冬場、せっかく暖房で家の中を暖めても熱は窓などから逃げていきます。

窓ガラスの内側に断熱シートを張ると、室内の熱が逃げ

にくくなります。ほかにも隙間テープ、断熱パネルなど、冷気を防ぐさまざまなグッズがホームセンターなどで売られています。ぜひお試しを！



断熱シートは張り付け簡単♪



断熱グッズいろいろ

問い合わせ 環境企画課 ☎(863)6632

タンクからの油漏れに注意！



燃料タンクの配管の老朽化や破損などにより、油類の流出事故が発生しています。灯油などが流出し河川などへ流入すると、油の回収・処理のため、当事者が多額の費用を負担しなければならないことがあります。

暖房器具の使用前にタンクや配管を点検し、使用中も漏れがないか確認しましょう。

問い合わせ

環境保全課 ☎(866)2075
消防本部予防課 ☎(823)4247